

令和2年 11 月



JAえちご上越 自己改革通信

ブリッジ Vol.10 (改訂版)



発行：JAえちご上越 総務部 企画課



1. ブリッジの発行にあたって

去る5月27日に第19回通常総代会が行われ、全議案が原案通り承認されました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から縮小開催（書面議決中心）となりましたが、参加いただいた総代の皆さまからはJAに対する要望や建設的なご意見を多数頂戴しました。異常気象やコロナウイルスの影響など不安はつきませんが、協同の力を最大限発揮して「農業生産の拡大」・「農業所得の増大」・「地域の活性化」に取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いします。

2. 「JAえちご上越 営農生産ガイド2020」の活用で農業生産の拡大と所得増大を目指しましょう！

JAでは生産指導から販売まで途切れることのない一貫した対応を目指し、各種取り組みを進めております。「JA えちご上越 営農生産ガイド2020」にはその一連の取り組み内容を掲載しました。品質・収量向上対策やコスト低減対策など組合員の皆さまの所得増大に貢献できる内容となっておりますので、是非ともご活用ください。

～「営農生産ガイド2020」より取り組みの一部をご紹介します～

(1) 生産資材共同購入によるコスト低減(JA 利用メリット)・・・詳細は営農生産ガイド P52～P53

【その1】営農指導員が生産活動をサポート

生産から販売まで一貫した対応で皆さまの期待に応えます。栽培方法や肥料農薬の使用方法を適切にアドバイスします。

【その2】「農業所得申告支援システム」が農業経営をサポート

JA との取引を（販売・購買・一部の貯金取引）を集計し、項目別帳票を作成します。システム利用により申告事務を軽減できます。

【その3】予約購入・引取りにより、肥料・農薬をより安価でご提供

予約購入で割引価格適用。さらに引き取りで肥料は110円/20kg(税込)、農薬は55円/1個(税込)を配達価格から値引き。

【その4】肥料・農薬の大口利用者奨励

予約購入いただいた合計金額(税込)に応じ、秋渡しでは2.5%～8.5%を、春渡しで2%～8%を割引。

※生産組織等の場合、代金のお支払いは1取引先(1口座)を条件とします。

※詳しい割引基準は営農生産ガイド P52 を参照ください。

【その5】肥料・床土・培土の工場直送奨励

工場直送を利用いただいた場合の奨励内容

配合肥料：110円/20kg(税込)	化成肥料：66円/20kg(税込)
単肥：33円/20kg(税込)	床土・培土：11円/20kg(税込)

※床土・培土については対象期間が10月～翌年2月末

※工場直送をご利用いただくためには一定の条件があります。詳しくは各資材店舗へお問い合わせください。



生産資材の予約積み上げは、スケールメリットによるコスト引き下げにつながります。協同の力を結集し、多くの予約申し込みで共同購入運動を展開しましょう！



(2) 品質・収量アップに向けた取り組み・・・詳細は営農生産ガイド P10～P16

【その1】水稲反収 15 kgアップを掲げた営農指導強化 ～大規模・中核経営体への重点指導実施中～

農地集積による大規模化で作業効率重視の栽培体系が主流となっており、生育状況に応じた管理が軽薄になっている傾向です。課題である反収の低位を改善するため、令和2年度より大規模・中核経営体への稲作指導を強化しています。生育調査圃や実証圃を有効活用し、情報提供を迅速に行うことで反収 15 kgアップを目指します。

【その2】異常気象に負けない米づくり ～土づくり運動実施中！～

上越地域は県内でも土づくり資材の施用率が低く、令和元年産の作柄状況も低位でした。異常気象に負けない米づくりには継続的な「土づくり」が欠かせません。特にケイ酸の補給に重点を置き、収量・品質の高位安定化を目指しましょう。

土づくり運動①

～稲わらのすき込みは秋のうち！～

- ◆ワキの軽減で初期成育の促進
 - ◆ケイ酸補給で光合成能力向上
- ※地温が高い10月中旬頃までに実施

土づくり運動②

～ケイ酸資材の投入で品質・収量アップ！～

- ◆光合成能力向上
- ◆窒素の利用効率向上
- ◆高温耐性向上
- ◆病害虫対抗性向上

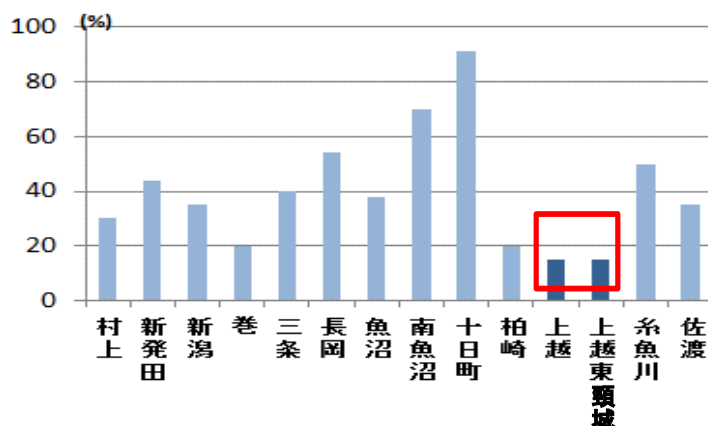
◎令和3年産用の土づくりに向けた「稲わらのすき込みにかかる腐熟促進剤」や「ケイ酸を含む土づくり資材」の購入について下記の通り支援します。(参考：令和2年産用土づくり資材の助成実績は約 52,600 袋でした。)

- 助成金額 対象資材 1 袋に対して 300 円を助成
- 対象資材 ケイ酸資材・・・越後の輝きソイル米スター・えちご上越ソイル元気
けい酸加里プレミアム 34・スーパーシリカプレミアム
稲わら腐熟剤・・・ワラクサル EX・ワラ分解キング・アグリ革命等・石灰窒素粒状
※石灰窒素については 10 袋以上購入したものに限り
- 助成要件 令和3年産用として JA えちご上越から購入した助成金対象土づくり資材。
- 助成対象期間 令和2年9月1日から令和3年6月末日購入分。助成時期は別途お知らせします。

参考) 土づくり肥料投入状況と作柄 (県内比較)

上越地域は県内でも土づくり肥料の施用率が低い地域です。また、令和元年産米の作柄状況を見ても県全体より低位です。

平成30年度土づくり肥料投入率 (新潟県)



※グラフ・表の出所: 上越農業普及指導センター

令和元年産米の作柄状況
予想収穫量

	上越地域	県全体
作況指数	97	100
予想収穫量 10aあたり	488kg	530kg
平年収量 10aあたり	503kg	528kg

上位等級比率 (単位%)

	上越地域	県全体
水稻うるち玄米	27.6	37.1
コシヒカリ	9.9	26.9

※JAえちご上越のコシヒカリ上位等級比率は10.3%

異常気象下では地力の有無が収量・品質に大きく影響します。産地一丸で土づくり運動を展開し、「求められるえちご上越米」づくりを目指しましょう！



3. 新型コロナウイルスの影響と主な支援事業について

新型コロナウイルスの感染拡大にともなうインバウンド需要・外食需要の減退等により、農産物の流通環境は短期間で激変しました。当管内においてもその影響がでており、特に畜産や園芸の一部品目において出荷調整や取引価格の下落などが生じました。10月末現在、一定の回復は見られるものの依然として先行きは不透明で、継続して取引環境を注視していく必要があります。水稻では日本酒消費の減少から、酒米や原料米である醸造用玄米の供給が需要を上回ることが見込まれるため、一部他用途への変更調整をおこないました。今後も需給動向を慎重に見極め、計画的な生産と販売を進めてまいります。

(1) 国の主な支援事業

事業名 (担当部署)	支援内容
持続化給付金	コロナの影響を受ける事業者に対して事業継続と再起を支援するため給付金を支給。 ◆給付上限額 法人：200万円 個人：100万円 ◆主 要 件 2020年2月以降の特定の月の売上が前年同月（または月平均）と比較して、50%以上減少していること。
経営継続補助金 (農業対策課)	感染拡大防止対策を行いつつ、販路の開拓や事業継続、転換のための機械設備導入等を支援。 ◆補 助 率 事業費の3/4を補助 ※感染拡大防止対策と合わせて最大150万円上限 ◆主な要件 JA等の支援機関により計画作成から申請、実施までの伴走支援を受けながら取り組む事業であること。
優良肉用子牛生産推進緊急対策事業 (園芸畜産課)	肉用子牛の品種区分ごとの全国平均価格が発動基準を下回った場合に右記取り組み2つ以上を行う生産者に対して奨励金を交付。 ◆交付単価 黒毛和種：60万円を下回る場合は1万円/頭 57万円を下回る場合は3万円/頭 交 雑 種：30万円を下回る場合は1万円/頭 29万円を下回る場合は3万円/頭 乳 用 種：18万円を下回る場合は1万円/頭 17万円を下回る場合は3万円/頭 ◆主な要件 下記うち2つ以上に取り組むこと。 ①畜舎の環境改善 ②経営分析 ③疾病防止 ④栄養状態の改善
肥育牛経営等緊急支援特別対策事業 (園芸畜産課)	体質強化のため、出荷頭数に応じて奨励金を交付。 ◆交付単価 2万円/頭（下記取組を2つ以上） 4万円/頭（枝肉価格が前年同月比30%以上下落かつ下記取組を3つ以上） 5万円/頭（枝肉価格が前年同月比40%以上下落かつ下記取組を3つ以上） ◆主な要件 下記のうち2つ以上に取り組むこと。（過去に実施した取組も認める。） ①飼料分析 ②血液分析 ③肉質分析 ④畜舎環境改善 ⑤経営分析

※10月末現在の状況（JA把握部分）

- ◆肥育牛経営等緊急支援特別事業では5件の申請をおこない、そのすべてが採択されました。
- ◆経営継続補助金では1次申請が終了しており、133件の申請のうち101件が採択されました。

（詳しい内容については担当部署へお問い合わせください。）

（２）園芸・畜産部門における影響とその対策

【野菜】

10 月末現在、スーパーなどに陳列される一般的な野菜の需給動向および価格相場については、コロナ禍の影響は少ないと考えます。このため秋冬野菜の販売交渉は概ね計画通りに進んでいます。ただし、例年多くの方から出荷をいただいております「くるみ（菓子くるみを除く）」については、コロナ禍により本年度の出荷をいただくことができません。次年度以降の販売見通しについては取引先と協議を進めながら、適宜おつなぎいたします。依然として厳しい環境にはありますが、これまで以上に産地が一丸となり計画的な生産と販売を強化することで、農業所得の増大を目指していきたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いします。

【畜産】

コロナ禍で消費が低迷する地場産農畜産物の消費拡大を目的に、上越あるるん村では「牛肉食べて！牛乳飲んで！産地応援プロジェクト」や「国産食材還元キャンペーン」と称したPRイベントを開催しました。畜産農家よるくびき牛の対面販売や特価販売をおこなった結果、多くの消費者から好評をいただき、需要期である 12 月に向けてよいPRの場となりました。また、地元だけでなく県内外の消費者に対し、広くPRするためインターネット販売に向けた準備も進めています。

10 月末現在の牛肉価格は少しずつ回復傾向にありますが、引き続き消費拡大に向けた取り組みを進めてまいります。

（３）新型コロナウイルス対策資金（JA 取扱一覧）

資金名	資金使途	貸付金額	保証料 助成	貸付期間	貸付金利
新型コロナウイルス 感染症緊急対策資金	生産販売数量の減少・農畜産物の損失補填	2,000 万円以内	当初 5 年 無利息	10 年以内 据置 2 年以内	年率 1.40% 利子補給有り 当初 5 年無利子
農林漁業セーフティ ネット資金	一時的影響による 経営維持安定に必要な資金	1 年間経費粗収益 1,200 万円以内	—	15 年以内 据置 3 年以内	当初 5 年無利息
農業経営基盤強化資金（スーパ－L 資金）	農機具、施設資金、長期運転資金	個人 3 億円以内 法人 10 億円以内	—	25 年以内 据置 10 年以内	当初 5 年無利息
農業近代化資金	農機具、施設資金、長期運転資金	個人 1,800 万円以内 法人 2 億円以内	当初 5 年 無利息	資金使途に応じて 7～20 年以内 据置 2～7 年以内	当初 5 年無利息
農業経営負担 軽減支援資金	負債整理資金	営農負債残高	当初 5 年 無利息	10 年以内 据置 3 年以内	当初 5 年無利息

※詳しい内容については最寄りの支店へお問い合わせください。

◎令和2年産米の販売見通し

出荷契約分については全て事前に購入申し込みを受けている販売先へ販売予定であり、需要の裏付けがない主食用米はありません。また、主食用米の約30%は複数年契約栽培となっており、既に販売先・価格も決まっています。特に業務用向け「つきあかり」は概ね5割が、複数年契約栽培で、契約以外の部分についても中食・家庭食用向けとなっており、まだまだ需要（契約要望）は多くなっています。「みずほの輝き」については5割超が複数年契約栽培で、CGCグループ様向けを中心とした家庭食用販売が大半であるため、つきあかり同様に安定的な販売を見込んでいます。令和3年産米の需給動向は見通せませんが、早期の事前契約をすすめることで安定販売につなげてまいりますので、安心してJAへお任せください。

【需要に応じた米の生産と販売】

1. 家庭食用から業務用まで、主食用米の「独自品揃え」

- ・県内他JAを圧倒する独自の品揃えで高い産地評価
 - ◆地域の特色を生かしたこだわり米の「コシヒカリ」
 - ◆安定品質と良食味の「みずほの輝き」
 - ◆安定需要の「こしいぶき」
 - ◆業務用向け炊飯特性に優れた「つきあかり」

「みずほの輝き」（109千俵）と「つきあかり」（77千俵）は、集荷量全国トップ



2. 安定所得確保に向けた「契約栽培」の提案

- ・「コシヒカリ」・「こしいぶき」・「つきあかり」・「みずほの輝き」の複数年契約栽培の取り組み拡大（安定取引につながる契約栽培要望数量は50万俵超）
- ・「もち米」・「酒米」の県内実需者との契約栽培の継続的な取り組み
- ・一定の手取り水準を担保した多様な需要に応じた「水田活用米穀」の複数年契約栽培
- ・令和2年産「主食用米」・「水田活用米穀」の契約栽培の取り組みは29万俵超（約43%）



3. 地域の特徴や特色を生かした多様な「こだわり米」の販売

- ・「統一5割低減栽培米」、「棚田米」、「はさかけ米」、「地域指定米」など区分集荷の拡大
- ・「コシヒカリ」だけで約40種類の区分集荷にあわせた販売先
- ・区分集荷に対応するラック式倉庫（三和・長面）や少量多品目な荷受けに対応したカントリーエレベーター（はねうまカントリー）などの施設整備

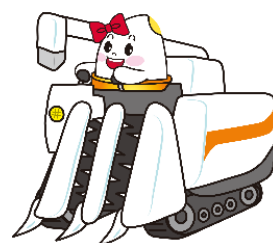


4. 多様な需要に応じた「水田活用米穀」の取り組み

- ・酒造、米菓原料、冷凍米飯（チャーハン・五目御飯等）としての「加工用米」
- ・菓子原料だけでなく、小麦の代替（グルテンフリー）としての「米粉用米」
- ・主食用米とあわせた多様な需要対応で産地評価向上
- ・価格を固定した契約的な販売を実践



【年産別米生産者手取価格・直売比率の推移】



◆コシヒカリ 1等（JA米）

単位：円／60kg俵

年産	仮渡金	仮渡金追加払い		最終精算	生産者手取
		1回	2回		
27年産	13,000	700		827	14,527
28年産	13,700			668	14,368
29年産	13,800	500	550	354	15,204
30年産	14,500	400		497	15,397

※元年産仮渡金 15,000 円 2 年産仮渡金：14,400 円

◆こしいぶき 1等（JA米）

単位：円／60kg俵

年産	仮渡金	仮渡金追加払い		最終精算	生産者手取
		1回	2回		
27年産	9,600	700		1,112	11,412
28年産	11,400			1,286	12,686
29年産	12,500	300	450	860	14,110
30年産	12,800			1,053	13,853

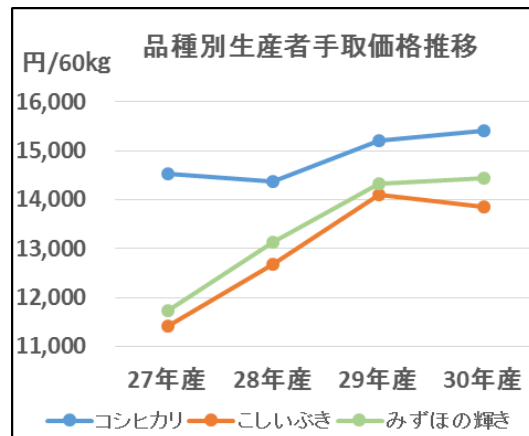
※元年産仮渡金 12,800 円 2 年産仮渡金：12,400 円

◆みずほの輝き 1等（一般米）

単位：円／60kg俵

年産	仮渡金	仮渡金追加払い		最終精算	生産者手取
		1回	2回		
27年産	10,000	700		1,035	11,735
28年産	12,000	550		576	13,126
29年産	13,000	500	200	627	14,327
30年産	13,500	100		837	14,437

※元年産仮渡金 13,600 円 2 年産仮渡金：13,000 円



年産別直売比率(主食用米)

年産	出荷契約時	最終実績
26年産	10.3%	10.9%
27年産	17.9%	24.4%
28年産	31.1%	31.4%
29年産	37.0%	41.7%
30年産	48.9%	51.2%
元年産	48.2%	51.7% (元年12月末時点)
R2年産	52.5%	

新型コロナウイルスの感染拡大の長期化にともない、令和2年産米の需給環境は非常に厳しい状況です。また、令和3年産米についても全国的に大幅な需給調整が求められる予想となっています。

このような時こそ、米の販売は40社を超える安定販売先を持つJAにお任せください。JAでは、確実な需要の裏付けに基づいて、生産者の皆様に出荷をお願いしてまいります。皆様におかれましては、多様な需要に応じた良質な「えちご上越米」生産に注力いただき、産地一丸となって激化する産地間競争を勝ち抜き、農業所得の増大を目指していきましょう。

JAへの出荷結集にご理解ご協力をお願い申し上げます。